



# あれこれ



担当：酒田支部

★山形県建築士会女性部委員会では入会者募集中!★ お問合わせ：山形建築士会 ☎023-643-4568 <http://www.yamagata-ken.org>

## 平成30年度 山形県建築士会女性委員会 事業内容

4月 7日 (土)	山形県建築士会女性委員会 「各支部委員長会議」	酒田市勤労者福祉センター
6月 5日 (火)	通常総会懇親会	山形市パレスグランデール
7月 28日 (土) ~29日 (日)	第28回全国女性建築士連絡協議会「高知」	高知県立県民文化ホール
8月 3日 (金)	合同委員会	山形市パレスグランデール
9月 1日 (土) ~ 2日 (日)	東北ブロック会女性委員会「みやぎ大会」	宮城県東北大学片平キャンパス
10月 25日 (金) ~27日 (土)	第61回 建築士会全国大会「さいたま大会」	大宮ソニックシティ
11月 3日 (日)	山形県建築士会 青年大会「鶴岡田川大会」	鶴岡市グランドエルサン
	11日 (日) 第1回 建築女子フォーラム「天童」	天童市常安寺・五日町
3月 30日 (土)	広報誌あれこれ発行	

## 平成30・31年度 女性委員会役員

担 当 理 事	酒 田	小 山 恵子	支 部 長	天 童	三 浦 仁恵
委 員 長	山 形	原 田 江美子	支 部 長	西 村 山	大 泉 みどり
副 委 員 長	村 山	草 刈 めぐみ	支 部 長	村 山	草 刈 めぐみ
会 計	山 形	齊 藤 智恵美	支 部 長	新 庄	金 澤 利示子
支 部 長	米 沢	村 山 紀子	支 部 長	鶴 岡 田 川	小 池 美佐
支 部 長	長 井	守 屋 由美	支 部 長	酒 田	古 川 美紀
支 部 長	山 形	原 田 江美子			

## 第28回全国女性建築士連絡協議会「高知」

H30.7.28~29

### ■ 全 大 会

酒田支部 古川 美紀

7月8日の西日本豪雨のため開催が心配された高知大会。開催日7月28日には台風12号が高知接近!と報道されたが予定通り高知県立県民文化ホールで「未来へつなぐ居住環境づくり」 ~一周おくれで先頭に、伝統こそ最先端~をテーマに開催されました。山形県からは10人が参加。南国土佐の明るい雰囲気のためか、皆さんもいつも以上に元気でした。

挨拶が終わり【被災地の現状報告】が被災地県代表者より報告をされた。復興が進んでない訳では無い。時間を経て問題は変わっていく。被災地毎の問題の違いや最近毎年のように起こる自然災害…などの報告を聞きながら、日々に追われてばかりではいけないと思いました。

基調講演は建築家・山本長水(やまもとひさみ)氏の~一周おくれで先頭に伝統こそ最先端~を拝聴しました。氏は【高知の建築→地産地消→自然の流石→日本伝統建築→土佐派】で、高知伝統の土佐杉・桧、土佐漆喰、土佐和紙などを使用するそうです。代表作品の丸太10mの軒桁・14mの垂木を使った「かたつむり山荘」。大変興味深く、材料・工法・形・導線はとても魅力でよかったです。この土地でしか立てれない建物なのです。伝統的な技法で100年以上住める家づくり。宮城被災地報告の「津波防波堤は何のために何を犠牲に~」と締められた話と重なり、自然や風土を軽視してはいけないと思いました。



■ 大 交 流 会 ■ 村山支部 草刈 めぐみ

江戸幕末の雰囲気を感じた大門を入る三翠園で、大交流会が開かれました。くじを引き、決まった席は会場の一番端で、反対のステージ側の端はとても遠く、全国からどれだけの女性建築士が集まったのだろうか。高知建築士会の青年部の方が、各テーブルに盛り上げ役として配置され、さらに有志で組んだバンドマンが歌を披露してくださり、ステージ反対側の席でしたが、その盛り上がりたるや。高知はお酒がおいしいということで、あまり飲めない私もおすすめされた日本酒を堪能してきました。最後には、「明日があるさ(全建女おもてなしバージョン)」の替え歌で大盛り上がりとなりました。



可杯 (べくはい)



①明日があるさ明日がある♪  
高知の建築士には夢がある♪  
いつかきついつかきつ♪わかってくれるだろう♪  
明日がある明日がある明日があるさ♪  
②~⑥

■ 夜 の エ ク ス カ ー シ ョ ン ■ 村山支部 草刈 めぐみ

高知には可杯 (べくはい) というものがあります。独楽を回し止まった時に軸の向いている方向に座っている人が当りで、杯には穴があいていて、穴を指で押さえながらお酒を飲み干さなければなりません。テーブルごとに、当りの人が決まっていき「いっき!いっき!いっき!、、、」のかけ声。大交流会ですでにいい感じに酔っぱらっていた私は、限界が近付いていたので、自分に当たらないことを願いつつハラハラして歓談どころではありませんでした。運よくお酒の強い小鷹さんに当たったのでことなきを得ましたが、まさに楽しくも恐ろしいお座敷遊びを体験してきました。高知初上陸は、新鮮で楽しい思い出になりました。

■ 分 科 会 ■ E.分科会『自治会連携とまちづくり』 米沢支部 村山 紀子

山口県徳山支部のH20年発足のまち塾による街づくりの発表でした。街づくりにあたって景観デザイン活動を始め、H28年「まちづくりに係わる建築士会等と自治会との連携強化のための方策検討事業」の助成金を受け、周南市の中心街地の景観にふさわしい色彩、デザインへのわかりやすくまとめたパンフレット「まちの景観 作法書」を作成プロセス(行政と協賛で係わった行事を含む)の発表でした。景観条例が有るのですが、現在の建物や通りの色を調査、現在の街並を測色、昔からある色や街並を基本とし、古くから親しまれてきた建物に調和させるパンフレットです。新しい街づくりの着目点に関心しました。景観形成重点地区の景観形成基準を補完する作法書であり、元にある良さを発見していき、簡単な5項目に分けたパンフレットは、住民目線でとても親切でわかりやすいです。自治体と連携が難しい中どうすれば上手に活動できるか?参加した全国の分科会出席者も、自治体、住民と連携の困難さを意見していました。ポイントは、建築士会として自治体と仲良く係わっていくことが重要だと痛感しました。長く付き合っていくと若く一緒に行動してきた市役所の職員がやがて偉い役職の立場になり、より行動と協賛に深みが増す。自治体は横のつながりが弱いので、いろいろな部署と幅広く係わっていくことの大切さを学ぶ事が出来ました。建築士会として行政と協力し、美しい街づくりが出来る様努力しなければと、とても有意義な分科会でした。

■ 分 科 会 ■ H.分科会『既存民家の活用』 山形支部 原田 江美子

コメンテーターの赤尾苑香さんは、徳島県の出身。山々に囲まれた神山町は高齢化率50%という深刻な状態の中、創生戦略のプロジェクトとして(一社)神山つなぐ公社が設立された。年間44人の転入という具体的な数掲げ活動している。「民家改修プロジェクト」では、空家を改修するだけでなく、地元高校の造園土木科の生徒の授業の一環として、空家の環境整備、木の伐採をし庭を造っている。改修された民家は、転入希望者の準備をはじめられる「すみはじめ住宅」として貸出ます。また、改修してできた新しいお店やオフィスを巡る「町民・町内バスツアー」では、町内会や老人クラブなど延33回405人が参加し好評を得ています。「改修をただの建設行為にしない。」その言葉どおり、様々な分野で繋がって町が活性化していました。





南国土佐です。  
奥には高知城が…



ステージにて



はりまや橋



桂浜の坂本龍馬像



会場ホールにて



カツオのたたき&  
ゆずサワー&小夏



夜のひろめ市場



分科会

■ エキスカーション ■

コース2.もうすぐ世界遺産認定!?『四国霊場3/88ヶ所巡り』  
西村山支部 大泉 みどり

分科会会場から徒歩3分のところに旧土佐二十四万石藩主・山内一豊公の屋敷後地に土佐の銘木、奇岩、貴石を各所に配し、数寄屋造りの名工によって建築されたという料亭旅館「臨水」。海の幸・山の幸に恵まれた土佐料理をいただき、そして女将さんから創業80余年の料亭内をご案内いただきました。

その後、一行は「四国霊場3/88ヶ所巡り」へと向かいました。初めに「31番札所 竹林寺」山門は入母屋造の楼門で金剛力士(仁王)像が安置されていました。

次に長宗我部家の菩提寺で元親の長男信親のお墓のある「33番札所 雪蹊寺(せっけいじ)」。参拝後特別に国指定重要文化財の仏像17体が収蔵されている宝物館(霊宝殿)を案内いただきました。

3ヶ所目は「32番札所 禅師峰寺(ぜんじぶじ)」。本堂前の奇岩の間に芭蕉の句碑「木がらしに岩吹き尖る杉間かな」があるように境内へ登る階段には多くの大きな奇岩が並んでいました。また、境内から土佐湾が一望でき、とても景色の良い札所でした。

今回巡った札所は坂本龍馬の銅像が立っている桂浜に比較的近い場所です。皆さんも高知県を訪れた際には是非足を運んでみてください。



↑ 料亭旅館「臨水」→



↑ 31番札所 竹林寺



↑ 33番札所  
雪蹊寺(せっけいじ)



↑ 32番札所 禅師峰寺(ぜんじぶじ) ↑





## ■ エキスカーション

コース6. 老舗専門店のうなぎをたべる『白壁のまち佐川』でお酒の文化もまんじゅえ  
天童支部 小鷹 貴子

「水切り瓦」、白壁の蔵が立ち並ぶ美しい街並みが見たく、佐川のまちを巡るエキスカーションに参加しました。町の中心部にある上町(うえまち)地区は、江戸時代に城下町として栄え、また、良質の米と水に恵まれていたため県内屈指の酒どころとなり、その風情は今も受け継がれ、伝統的な商家住宅や酒蔵などが街なみを形成する、まさに歴史的建造物の宝庫でした。

上町地区を歩くと最初に目に入ってくるのが風情ある酒蔵。東西に延びる「酒蔵の道」には、江戸時代に建てられたものから近代のものまで、それぞれの時代を見つめてきた蔵がたくさん並んでいます。中でも一際大きな蔵は、長さ85mを超える長大な酒蔵で、壁には水切り瓦や太い樋が何本もあり雨の凄さを感じさせます。この酒蔵の敷地内に建つのが、平成19年に国の重要文化財に指定された「竹村家住宅」です。江戸時代より造り酒屋として栄えた商家で、格式高いその佇まいは往時を思い起こさせます。玄関の壁は、べんがらを入れた赤い土佐漆喰、座敷の壁は和紙張り仕上げの貼り付け壁など、ここでしか見られない建築様式を見ることができました。

隣接する「旧竹村呉服店」は竹村家の分家にあたる家で、店舗は文政11年(1828)頃に建てられたものだそうです。平成27年に大改修され、輸入雑貨も並ぶ素敵な雑貨・喫茶店として蘇り、国の登録有形文化財に登録されています。その他にも佐川のまちには趣向を凝らした建物が多く、外壁の「なまこ壁」ひとつ取っても「四半張り」や「芋張り」、石積には見た目にも美しい「亀甲積」が用いられるなど、職人の技と心意気が感じられました。今回、街並みを案内して下さった「佐川くろがねの会」の皆さん。地元有志による観光ボランティアの方々に、揃いのショッキングピンクを身に着けたその姿は、まちの人たちに元気を与え、生きがいにもなっているそうです。歴史的な街並みに颯爽と観光案内する姿が印象的な、いつまでも守って頂きたい風景です。



酒蔵1



酒蔵2



竹村家住宅外観



竹村家玄関(土佐漆喰)



旧竹村呉服店



亀甲積



吉野さん

編著:日本建築士会女性委員会 都道府県建築士会 女性委員会

# 魅力ある和の空間ガイドブック

**WEB版2018年9月公開**

おすすめの和の空間を紹介。  
全国各地都道府県の女性建築士が解説します。

日本建築士連合会女性委員会HP

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/jyosei-iinkai/index.html>